

寝屋川市放課後子ども総合プラン運営委員会議事録

1 日時 令和4年3月28日（月） 午前10時～

2 場所 議会棟4階第一委員会室

3 参加者

(1) 出席委員 (15名) 全員出席

植木委員 杉本委員、龍田委員、梶井委員、若林委員、森委員、
甲斐委員、土保委員 畠中委員、栗原委員、大寺委員、永幡委員、
山本委員、村上委員、谷口委員

(2) 事務局 (4名)

赤堀課長、三河係長、中村、高岡

4 次第

(1) 委員長の選出

(2) 副委員長の選出

(3) 放課後子ども教室と令和3年度運営委員会の経過について

(4) 今後の審議予定について（令和4年度～）

5 会議内容

委員長の選出 杉本委員長

副委員長の選出 梶井副委員長 に決定

事務局：放課後子供教室と令和3年度運営委員会の経過について

各委員：コロナのためにできなくなったことを数えるのは「過去思考」で、できることを数えるのは「未来思考」だと感じる。「未来思考」で会議を進めていきたい。

○「コロナで変化した取り組みは？」

- ・PTA では、「スマイルプロジェクト」（動画募集を行い PTA ホームページに掲載）を実施し、寝屋川市 PTA 大会もオンラインを活用しながら、ハイブリッド型（オンラインと対面を併用）で開催できた。

しかし、イベント型の行事は全く開催できなかったもので、2年間温めてきた行事を今年は開催していきたい。

- ・学校では、普段なら1教室で実施していた事を、教室を分けて活動するなどの工夫をした。名前がついた宣言(非常事態宣言など)が発出されると活動が止まってしまうが、できることにはチャレンジしていきたい。

- ・運動会が学年ごとの開催で、親は子どもを間近に応援することができた。
また、子ども同士はオンライン上で、見ることができるのは良かった。
- ・上の学年の体験を見ることで自己肯定感をあげることができてない一年だったが、できることを考えていきたい。
- ・来年度は地域教育協議会と PTA と放課後子供教室の 3 つの団体でイベント的なプログラムを開催できるよう計画している。
- ・PTA での秋祭りは遊ばせる目的で開催。飲食なしだったが、かなりの来場があった。
子ども達は景品がないと参加しないのか？(外発的動機付け)子ども達と楽しむことが重要なのでは？ 交換経済が成り立たなくなっているのではないか。また参加人数の多さでは無く、何を得たのかを大切にしたい。活動ありきで開催するのではなく、WHAT が必要ではないか。

○「今後、できる取り組み」について

- ・青少年課を通じて情報共有（オンラインや交流会等）できれば、他の実行委員会の取組を知るきっかけになるのではないか。
- ・児童から「またプログラムを開催してほしい。」との声があがっているので開催していきたい。今後は ZOOM 等も取り入れていきたい。
- ・量的思考から脱却し、子どもにとって良い活動をしっかり考えていきたい。先輩の姿を見る機会が減っているので、子どもから実地的な指導提案をいただくなどをしていきたい。
- ・先日、コミュニティスクールの公演会に参加したが、「なぜ子どもが会議に参加していないのか？」という質問に「子どもが未熟だから」と答えていたが、これからの社会には会議に子どもを入れて意見を吸い上げていく、子どもが主体的に未来を作っていく。例：OECD
今の子ども達は遊んで学んでいく世代になってほしい。
あくまで子どもが主体の会議をしていきたい。

○今後の予定

- ・年 3 回開催予定（7 月 10 月 1 月）
- ・実行委員会向けの事務説明会を 4 月 21 日に開催する。